

2018年3月期 第1四半期の業績の概要

2017年8月24日

会社名 **富士火災海上保険株式会社**

上場取引所 非上場

URL <http://www.fuikasai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 隆美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 合志 牧子

TEL 03-5400-5840

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(注) 金額は記載単位未満を切り捨て、諸比率は四捨五入し表示しております。以下の諸表も同様です。

1. 2018年3月期第1四半期の業績(2017年4月1日～2017年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	71,871	△ 4.5	5,559	73.8	20,434	529.9
2017年3月期第1四半期	75,220	△ 4.7	3,198	1,636.2	3,244	12,109.6

	1株当たり四半期純利益	
	円	銭
2018年3月期第1四半期	168	88
2017年3月期第1四半期	26	81

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第1四半期	833,083	84,606	10.2
2017年3月期	824,308	65,125	7.9

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 84,606百万円 2017年3月期 65,125百万円

○添付資料の目次

1. 四半期財務諸表	P. 2
(1) 四半期貸借対照表	P. 2
(2) 四半期損益計算書	P. 3
2. 補足情報	P. 4
(1) 種目別保険料・保険金	P. 4
(2) 有価証券関係	P. 5
(3) デリバティブ取引関係	P. 6
(4) ソルベンシー・マージン比率	P. 7

※ 2018年3月期 第1四半期業績の概要（補足資料）

1. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	35,556	97,596
有価証券	620,704	580,031
貸付金	5,669	5,420
有形固定資産	33,437	30,765
無形固定資産	8,377	8,811
その他資産	58,600	55,337
前払年金費用	4,914	4,920
繰延税金資産	57,604	50,740
貸倒引当金	△ 526	△ 526
投資損失引当金	△ 29	△ 12
資産の部合計	824,308	833,083
負債の部		
保険契約準備金	700,706	692,810
支払備金	91,001	89,480
責任準備金	609,704	603,329
その他負債	56,164	52,626
未払法人税等	2,346	734
リース債務	1,444	1,307
資産除去債務	1,085	1,088
その他の負債	51,287	49,496
役員退職慰労引当金	90	94
賞与引当金	773	1,675
特別法上の準備金	368	453
価格変動準備金	368	453
再評価に係る繰延税金負債	1,080	817
負債の部合計	759,182	748,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,981	55,981
資本剰余金	45,679	45,679
利益剰余金	△ 54,395	△ 33,289
株主資本合計	47,265	68,371
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,404	26,451
土地再評価差額金	△ 9,544	△ 10,216
評価・換算差額等合計	17,860	16,234
純資産の部合計	65,125	84,606
負債及び純資産の部合計	824,308	833,083

(2) 四半期損益計算書
【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
経常収益	75,220	71,871
保険引受収益	73,042	68,010
(うち正味収入保険料)	60,895	58,518
(うち収入積立保険料)	451	119
(うち積立保険料等運用益)	1,681	1,469
(うち支払備金戻入額)	-	1,521
(うち責任準備金戻入額)	9,996	6,374
資産運用収益	1,626	3,435
(うち利息及び配当金収入)	2,830	3,432
(うち有価証券売却益)	311	1,293
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 1,681	△ 1,469
その他経常収益	552	425
経常費用	72,021	66,312
保険引受費用	55,847	49,961
(うち正味支払保険金)	31,641	30,758
(うち損害調査費)	3,740	3,513
(うち諸手数料及び集金費)	10,570	9,845
(うち満期戻金)	6,249	5,720
(うち支払備金繰入額)	3,475	-
資産運用費用	1,371	1,525
(うち有価証券売却損)	162	368
(うち有価証券評価損)	34	-
(うち金融派生商品費用)	1,143	1,127
営業費及び一般管理費	14,551	14,694
その他経常費用	251	131
(うち支払利息)	16	17
経常利益	3,198	5,559
特別利益	889	22,843
固定資産処分益	0	3,557
特別法上の準備金戻入額	889	-
価格変動準備金戻入額	889	-
子会社株式売却益	-	19,285
特別損失	0	352
固定資産処分損	0	46
特別法上の準備金繰入額	-	84
価格変動準備金繰入額	-	84
子会社株式売却関連費用	-	220
税引前四半期純利益	4,088	28,050
法人税及び住民税	650	603
法人税等調整額	193	7,012
法人税等合計	843	7,615
四半期純利益	3,244	20,434

2. 補足情報

(1) 種目別保険料・保険金

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区分	前第1四半期累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	15,180	20.5	△24.8	14,812	20.8	△2.4
海上	408	0.6	△14.8	394	0.5	△3.4
傷害	5,285	7.1	△4.2	5,022	7.1	△5.0
自動車	36,859	49.7	△0.2	35,604	50.0	△3.4
自動車損害賠償責任	9,663	13.0	△6.6	8,518	12.0	△11.9
その他	6,767	9.1	1.1	6,827	9.6	0.9
合計	74,166	100.0	△7.5	71,180	100.0	△4.0

正味収入保険料

区分	前第1四半期累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	4,499	7.4	△69.7	3,342	5.7	△25.7
海上	329	0.5	△16.7	351	0.6	6.6
傷害	5,268	8.7	△4.2	5,006	8.6	△5.0
自動車	36,831	60.5	△0.2	35,581	60.8	△3.4
自動車損害賠償責任	7,353	12.1	△8.6	7,543	12.9	2.6
その他	6,611	10.8	1.8	6,693	11.4	1.2
合計	60,895	100.0	△15.6	58,518	100.0	△3.9

正味支払保険金

区分	前第1四半期累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	4,042	1.3	95.9	3,089	△23.6	101.4
海上	144	8.0	46.2	72	△50.0	22.3
傷害	2,217	△1.8	45.9	2,155	△2.8	47.2
自動車	16,951	△7.5	52.9	17,483	3.1	55.5
自動車損害賠償責任	6,077	△0.4	90.3	5,469	△10.0	79.7
その他	2,208	2.3	36.0	2,489	12.7	40.1
合計	31,641	△4.0	58.1	30,758	△2.8	58.6

(注) 正味損害率は正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

(2) 有価証券関係

1. 満期保有目的の債券

前事業年度 (2017年3月31日)

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
公社債	77,127	84,178	7,050

当第1四半期会計期間 (2017年6月30日)

(単位:百万円)

	四半期貸借対照表計上額	時 価	差 額
公社債	76,992	83,864	6,872

2. その他有価証券

前事業年度 (2017年3月31日)

(単位:百万円)

	取得原価	貸借対照表計上額	差 額
公社債	146,863	154,067	7,203
株式	18,566	35,914	17,347
外国証券	286,236	288,633	2,397
その他	20,044	30,007	9,963
合計	471,711	508,623	36,912

- (注) 1 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。
 2 「その他」は投資信託受益証券(取得原価20,044百万円、貸借対照表計上額30,007百万円、差額9,963百万円)であります。
 3 前事業年度において、その他有価証券(時価を把握することが極めて困難と認められるものを除く。)について32百万円(すべて株式)減損処理を行っております。
 なお、有価証券の減損にあたっては、事業年度末の時価が取得原価に比べて30%以上下落した銘柄すべてを対象としております。

当第1四半期会計期間 (2017年6月30日)

(単位:百万円)

	取得原価	四半期貸借対照表計上額	差 額
公社債	137,757	144,442	6,685
株式	21,224	39,574	18,350
外国証券	281,097	283,837	2,739
その他	20,031	27,922	7,890
合計	460,110	495,776	35,665

- (注) 1 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。
 2 「その他」は投資信託受益証券(取得原価20,031百万円、四半期貸借対照表計上額27,922百万円、差額7,890百万円)であります。
 3 その他有価証券(時価を把握することが極めて困難と認められるものを除く。)について減損処理は発生していません。
 なお、有価証券の減損にあたっては、四半期会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落した銘柄すべてを対象としております。

(3) デリバティブ取引関係

1. 通貨関連

前事業年度 (2017年3月31日)

(単位: 百万円)

区分	取引の種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引 以外の取引	為替予約取引 売建				
	米ドル	9,226	1,029	△ 213	△ 213
	英ポンド	1,623	1,623	△ 37	△ 37
	ユーロ	28,144	—	△ 840	△ 840
	買建				
	米ドル	18,958	969	23	23
	英ポンド	2,160	1,884	△ 221	△ 221
	ユーロ	30,244	—	△ 46	△ 46
合計		—	—	△ 1,336	△ 1,336

(注) 1 時価の算定には、先物為替相場を使用しております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

当第1四半期会計期間 (2017年6月30日)

(単位: 百万円)

区分	取引の種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引 以外の取引	為替予約取引 売建				
	米ドル	31,459	1,029	△ 146	△ 146
	英ポンド	1,623	1,623	△ 109	△ 109
	ユーロ	664	—	△ 51	△ 51
	買建				
	米ドル	27,024	969	85	85
	英ポンド	1,884	1,884	△ 151	△ 151
	ユーロ	747	—	△ 31	△ 31
合計		—	—	△ 404	△ 404

(注) 1 時価の算定には、先物為替相場を使用しております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

(4) ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

区分	前事業年度 (2017年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2017年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	181,655	207,438
資本金又は基金等	47,265	68,371
価格変動準備金	368	453
危険準備金	117	116
異常危険準備金	116,884	117,532
一般貸倒引当金	166	166
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前)	33,221	31,992
土地の含み損益	△ 9,972	△ 11,672
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
控除項目	6,903	—
その他	506	477
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$	40,832	42,375
一般保険リスク (R ₁)	21,776	21,667
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	6	6
予定利率リスク (R ₃)	3,531	3,520
資産運用リスク (R ₄)	21,528	21,837
経営管理リスク (R ₅)	1,586	1,632
巨大災害リスク (R ₆)	6,042	7,383
ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	889.7%	979.0%

注. 「ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率であります。

【ソルベンシー・マージン比率の説明文】

・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

・この「通常の予測を超える危険」に対して「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」であります。

「通常の予測を超える危険」

保険引受上の危険 (*1)、予定利率上の危険 (*2)、資産運用上の危険 (*3)、経営管理上の危険 (*4)、巨大災害に係る危険 (*5) の総額

- *1 保険引受上の危険 (一般保険リスク、第三分野保険の保険リスク) :
保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険 (巨大災害に係る危険を除く)
- *2 予定利率上の危険 (予定利率リスク) :
積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
- *3 資産運用上の危険 (資産運用リスク) :
保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
- *4 経営管理上の危険 (経営管理リスク) :
業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記*1～*3および*5以外のもの
- *5 巨大災害に係る危険 (巨大災害リスク) :
通常の予測を超える巨大災害 (関東大震災や伊勢湾台風相当) により発生し得る危険

「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」

損害保険会社の純資産 (社外流出予定額等を除く)、諸準備金 (価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み損益等の総額

・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用する客観的な指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

2018年3月期 第1四半期業績の概要（補足資料）

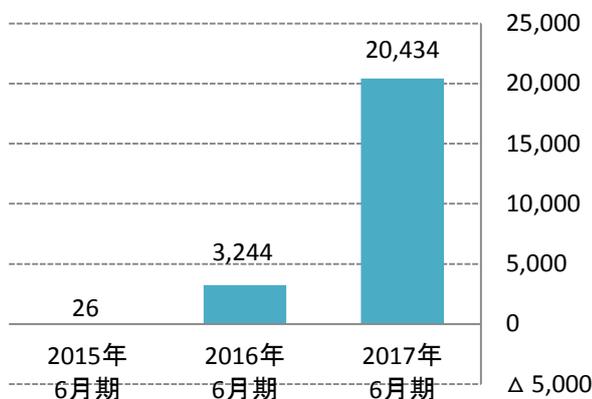
富士火災海上保険株式会社の2018年3月期第1四半期の業績につきまして、以下の通り概要をお知らせいたします。

■ 損益の状況

四半期純損益

204.3億円

(単位:百万円)



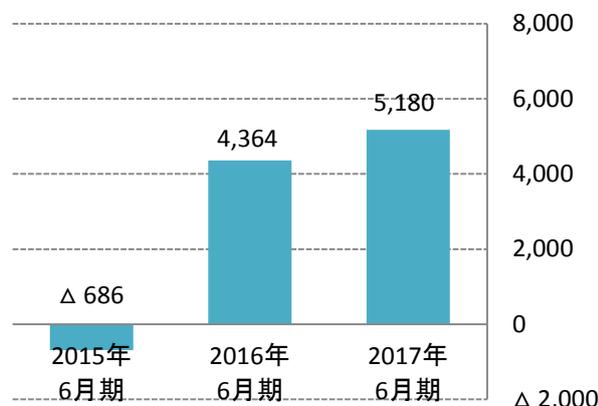
2018年3月期第1四半期の四半期純利益は204億円となりました。保険引受損益が8億円、資産運用損益が16億円、特別損益が216億円それぞれ増益し、全体で対前年同期比171億円の増益となりました。

特別損益の主な内訳は、当社の100%子会社であったAIG富士生命株式の売却益192億円、固定資産処分益35億円などです。

保険引受損益

51.8億円

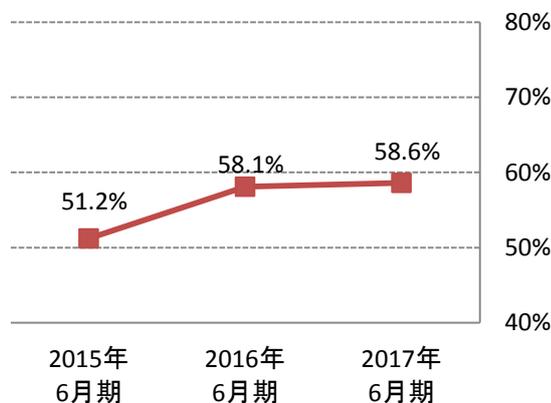
(単位:百万円)



2018年3月期第1四半期の保険引受利益は51億円となりました。正味収入保険料は減収となりましたが、正味支払保険金および正味事業費が減少したことなどにより、対前年同期比8億円の増益となりました。

正味損害率

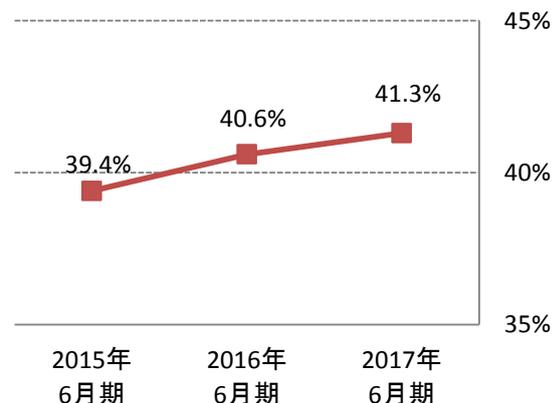
58.6%



2018年3月期第1四半期の正味損害率は58.6%となりました。正味支払保険金は8億円減少しましたが、正味収入保険料の減少により、前年同期比0.5ポイント上昇しました。

正味事業費率

41.3%



2018年3月期第1四半期の正味事業費率は41.3%となりました。正味事業費は5億円減少しましたが、正味収入保険料の減少により、前年同期比0.7ポイント上昇しました。

■ 保険料収入の状況

元受正味保険料（除く収入積立保険料）

711億円

（単位：百万円）



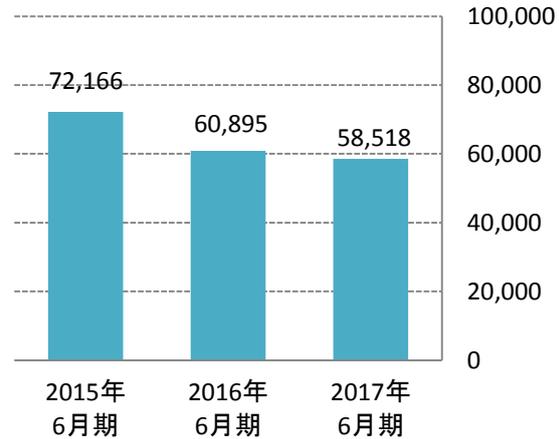
2018年3月期第1四半期の元受正味保険料（除く収入積立保険料）は711億円と前年同期比△4.0%の減収となりました。

正味収入保険料

（元受正味保険料+受再正味保険料-支払再保険料）

585億円

（単位：百万円）



2018年3月期第1四半期の正味収入保険料は585億円と前年同期比△3.9%の減収となりました。

■ 純資産と支払余力（ソルベンシー・マージン）の状況

純資産

846億円

（単位：百万円）



2018年3月期第1四半期末の純資産は、四半期純利益の計上等により、前年度末に比べ194億円増加しました。

単体ソルベンシー・マージン比率

979.0%



2018年3月期第1四半期の単体ソルベンシー・マージン比率は、四半期純利益の計上等によりマージン総額が増加した結果、前年度末比89.3ポイント上昇し、979.0%となりました。